

Medical Communication Community

～Since Jun 2017～

Vision

患者さんに適切な医薬品情報を迅速に届けるためにあるべき姿を産官学で議論を行い、顕在化されている又は顕在化されていない課題を特定し、協力して改善提案を行う。

Scope

適正使用推進のための情報、患者さんの安全管理のため情報、サイエンス・エビデンスに基づく医療関係者へ提供すべき情報

For Patient

課題の事例：

- 医薬品情報の連続性と計画性をどう考えるか
- 安全性の共通メッセージをどのように伝達すべきか
- CTDから市販後資材のメッセージの一貫性はどのようにとっていくべきか
- 公表文献の論文のミスコンダクト（倫理）、公表計画の課題は何か



第2回メディカル・コミュニケーションワークショップ：2019年5月20日開催

- CTDとRMP、添付文書及び適正使用のための資材の文書間には、文書の目的の違いや、作成過程、承認申請中の経過により、本来あるべき一貫性がとられていなかったり、一貫性がとられているものの、本来必要な一貫性であるのか疑問が残るケースもあります。
- 本ワークショップでは、各文書が作成される目的、作成過程及び読み手がどのように利用するか並びに文書間のつながりを理解することで、企業の各文書の作成担当者や規制当局の立場で自分自身がすべきことを考え実行できるようになることを目的に企画しました。これらは、医薬品情報を使用される医療関係者の方々有用であると考えます。
- このような内容に課題を感じていらっしゃる方の参加をお待ちしております。

Coming soon

11/12(月)17:45-19:00
チャットセッション7及び9にも
お越しください

コミュニティメンバー

MSD株式会社	津森 桂子
日本イーライリリー株式会社	小嶋 祐子
アステラス製薬株式会社	安倍 理加
ファイザー株式会社	荻原 香奈恵



メディカル・コミュニケーションコミュニティでは、規制当局、アカデミア及び製薬企業（ファーマコビジランス、添付文書、メディカルインフォメーション、メディカルライティングなど）の医薬品情報に関わる幅広いメンバーと新たな活動ができればと考えております。ご興味のある方はDIA事務局までご連絡ください。